



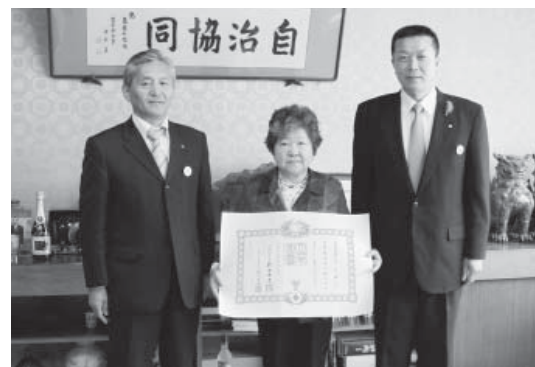
教育長に 中田直雅氏が就任

平成17年12月から6年4カ月にわたり教育行政にご尽力された村木登教育長が4月末日をもって退任され、後任に中田直雅氏（下町・56歳）が教育委員会で互選されました。発令は5月2日、任期は前教育長の残任期間の平成25年12月24日までです。

中田新教育長は「過去3度にわたって多くの町民の皆さんにお世話になりました。ご恩返しのため頑張りますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします」と抱負を語りました。



岩手大学卒。平成3年盛岡教育事務所社会教育主事として葛巻町教育委員会に派遣、2年間勤務。平成14年から16年まで旧小田小学校教頭。平成22年から五日市小学校校長。盛岡市出身。



土谷勝子さん 瑞宝双光章を受章

春の褒章により土谷勝子さん（元木・76歳）が「瑞宝双光章」を受章されました。土谷さんは、昭和40年から平成19年まで42年の長きにわたり民生児童委員を務められ、地域住民の保護更生活動に尽力されました。また昭和59年の町食生活改善推進員協議会発足に尽力。設立当初から副会長、平成16年からは会長として、地域の保健福祉の向上に寄与されました。



晴天のもとコナラの苗木300本を植樹



第13回町植樹祭（主催：町産業振興協議会）は

5月19日、東京都の（株）永和が元町地区に開設している企業の森「えいわの森」で開催されました。

この活動は、貴重な財産である森林と環境を大切に育むことを目的として開催され、葛巻地区森林愛護少年団（小屋瀬）や町内の3つの小学校や企業の森、森林組合関係者など約300人が参加しました。

開成式で鈴木重男町長は「植樹作業を通じて、あらためてわがまちの持つ力、森林の持つ力をみんなで再認識し、このような活動を次の時代にしっかりとつないでいく、これが今の時代を生きる我々に課せられた課題である」とあいさつしました。

このあと、高さが15〜20m程度になり、薪炭材や椎茸の原木、薪として使われている「コナラ」（県企業局提供）の苗木300本を植樹。大人がスコップやトウガを使って土を掘り、子どもたちが苗木を土でしっかりと安定させ、ペットボトルで水をたっぷりかけま

した。

参加した山中優菜さん（小屋瀬小6年）は「斜面がきつくて登るのも大変だったけど、

小岩金網株式会社

いきものにぎわい 企業活動コンテスト受賞を祝う

平成23年度に開催された第2回いきものにぎわい企業活動コンテストにおいて、小岩金網株式会社（西村専次社長）の「こいわの森プロジェクト」が公益社団法人国土緑化推進機構理事長賞を受賞し5月18日、グリーンテージで関係者ら100人が出席し祝賀会が開催されました。



祝賀会でこれまでの活動を振り返りました

しっかり植えることができ良かったです。大きく成長して欲しいです」と笑顔で話しました。

（企業の社会的責任）の一環として「企業の森」構想を立ち上げ、葛巻町、葛巻町森林組合などと協働体制を構築し、里山林整備などの活動をスタート。生物多様性を維持するための本物の里山復活・保全を目指し、実験ハウスや見本林づくりなどの実証実験も試みるなど活動に独自性を持たせています。また22年からは、ニホンミツバチが自然繁殖できる広葉樹の森を目指し、トチノキやクリの植樹・育林活動を始めたことなどが認められ今回の受賞となりました。西村社長は「葛巻町の皆さんと一緒に活動したこと、わが社の社訓にもある自然との共生、社会・地域貢献を皆さんの協力により実行したことが評価されたと思います」と感謝しました。

寄付でまちづくりを 応援してください！

町の約9割をしめる山林。この豊かな森林を眠らせておくのは「もったいない」。森林を守り育てていくことと新エネルギーの導入を進めて「くずまき」らしい持続可能な循環型林業を構築できないだろうか。このような発想から町は平成17年度にふるさとづくり基金を創設。全国から寄付金を募集し、23年度で合計金額は748万5千円に達しました。

皆さんからいただいたご寄付は、伐採した山林への再造林や公共施設へのペレットストーブの設置などに活用されています。

自立の町を目指す「くずまき」を応援して下さる全国の皆さんと町民の皆さん、ふるさとづくり基金へのご協力をお願いします。（寄付の方法は、町のホームページをご覧ください）

	18～22年度		23年度		合計	
	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数
森林の保全と資源循環に関する事業	3,080,000	148	250,000	12	3,330,000	160
新エネルギー導入に関する事業	1,475,000	81	85,000	7	1,560,000	88
指定なし	2,580,000	25	15,000	3	2,595,000	28
合計	7,135,000	254	350,000	22	7,485,000	276
運用益	16,929	-	471	-	17,400	-
基金取り崩し	5,500,000	-	900,000	-	6,400,000	-
基金合計					1,102,400	

ご寄付
ありがとうございます

6年間で
7,485,000円

23年度は、ご寄付をいただきました財源を有効に活用するため、「森林の保全と資源循環に関する事業」で800,000円を伐採跡地への再造林事業の助成を実施するとともに、新エネルギー導入に関する事業で、吉ヶ沢小学校のペレットストーブ（1基）の設置に100,000円を助成しました。